

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-1  
多様な自然の保全

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

林業課長 前島 和弘

電話番号

0852-22-5167

事務事業の名称	県民参加による森づくり事業	
目的	(1) 対象	県民参加による森づくり事業
	(2) 意図	森づくりの活動等に積極的に参加してもらい、森林・林業への理解を深めてもらう。
事業概要	①県民自らが活動を企画提案し参加することができるように、水と緑の森づくり税を財源として、森林整備や県産木材の利用、森林環境学習などの取組に対し交付金を交付する。(みーもの森づくり事業) ②しまね森林活動サポートセンターが県からの委託を受けて、森林に関する支援を必要とする方に対し、専門家(森づくりサポーター)を派遣する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県民協働の森づくり活動年間参加者数	目標値		16,200.0	16,700.0	17,400.0	17,900.0	人
	式・定義	みーもの森づくり事業及びしまね森林活動サポートセンターの支援による森づくり活動への参加者	取組目標値						
			実績値	15,763.0	10,468.0	10,074.0			
			達成率	-	64.7	60.4	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	55,967	58,316
うち一般財源(千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成29年度は、みーもの森づくり事業及びしまね森林活動サポートセンターの支援による森づくり活動への参加者は10,074人であった。(H25 15,068人、H26 16,332人、H27 15,763人、H28 10,468人、H29 10,074人)

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- みーもの森づくり事業において、活動団体数は毎年40団体程度であり、過去に同事業を実施したことのある団体だけでなく、新たに取組む団体もあることから、「森林の整備・保全は社会全体で支える」という県民意識の醸成や森林に対する県民理解の促進に繋がっている。
- みーものスクールでは、県内31の小中学校で森林教室が開催され、次世代を担う子ども達への森林環境教育が進んだ。
- 森林活動サポートセンターからは、41団体に対して161人のサポーターを派遣し、森づくり活動などへの支援を行った。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- 活動団体数は例年並みだが参加者数が伸び悩んでおり、森林への興味や関心を持つ人の直接的な森づくり活動への参加につながっていない。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 活動内容の中で、竹林伐採など技術を要する作業を専門業者への委託することが多く、参加者が直接作業する部分が一部となっている。
- 当事業を知っている団体はうまく活用しているものの、そうでない団体への周知が不足している。

### ③原因を解消するための「課題」

- 引き続き森林インストラクターの派遣など、森づくり活動団体への技術的支援が必要。
- 新規提案団体へのPR、周知方法が課題。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- みーもの森づくり事業においては、早い時期から活動が開始でき、多くの県民が気軽に参加できるよう平成29年度に事業実施スケジュールの前倒しなど制度改正を行った。平成30年度事業より適用されるため、森づくり活動参加者の増加が期待できる。
- 事業PRにおいては、事業提案募集時にHPや冊子、チラシ等を使うとともに、TVを使った活動紹介など新たな活動団体の掘り起こしを行う。併せて活動の技術的支援者として、森づくりサポートセンターの活用を推進する。
- 活動団体においても広報紙、地元CATVなどを使った活動参加への呼びかけや活動内容のPRなどの協力依頼により、参加者の増加を図る。